

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

第六十一話

「新冠の文化協会について

～音楽活動、郷土文化研究会(語り)～

(要約文)

昭和三十年代でしょうか、当時はまだ文化協会というのはいささか珍しい状態だった。そのうちだんだんとその気運が広がってきて、小さな新冠の町でも作るうではないかと、直接の担当者である教育委員会から話があって始まったのが最初でした。

その頃、私はバンドのような音楽活動をやっていました。小さなクラリネットやトロンボーンを何個か集めて、楽団とも言い難い愛好会のようなものを作って楽しんでいました。女性も含めて十二名くらいの集まりです。それが、新冠での音楽としての文化活動の芽生えだったと思います。その後、コーラスグループができました。山びこコーラスグループという団体がありましたが、それは自然消滅してしまいました。指導者は、楽譜が読めるということでした。

文化協会は、秋に文化祭を開催しています。文化祭はどこでもやっていると思いますが、だんだん寂しくなってきたのが現状です。文化の幅は広がってきませんが、新しくできてはなくなってしまう、

そのような団体の流れもあります。人数も少なくなってきたかと思えます。大きな原因は、人口が減っていることではないか。過疎化にあるということ、それが全てに結びついているかと思えます。

私たち郷土文化研究会の新しい取り組みとしては、「イコク」というなつかしの人物の昔の住まいを再現しようというものです。イコクはアイヌの人で、判官館に据立てのあばら家、萱葺きの屋根に住んでいた人です。その家を再現しようという話がありました。お金もかかるものですが、助成を受けるために組織を作ったわけです。それが新冠郷土文化研究会という難しい名前の組織ができたのです。郷土文化研究会は現在、新冠町文化協会に加入しています。以来、郷土の歴史に関する本を出すようにしています。年寄りは昔を恋しがるもので、それを呼び戻すというか、それが楽しみなのです。記憶は一代、記録は末代とはよく言ったものです。



イコクの家を再現中の新冠郷土文化研究会。判官館に「先人の家」としてしばらくあったが、現在は残されていない(昭和58年頃)

冬の交通安全運動(11/13～11/22)が実施されます!

- 子どもや高齢者をはじめとする歩行者の安全確保
- スリップ事故防止と全席シートベルト着用
- 飲酒運転の根絶

静内警察署

火災・救急出動状況		() かつこ内は前年同期	
区分	火災件数	救急件数	
9月	0件(0件)	25件(31件)	
5年1～9月	3件(6件)	262件(262件)	
交通事故発生状況		() かつこ内は前年同期	
区分	発生件数	死者	傷者
9月	0件(1件)	0人(0人)	0人(1人)
5年1～9月	3件(6件)	0人(0人)	3人(9人)

人のうごき

(9月末現在)

人口	5,173人	(前月比 + 4人)
男	2,575人	(前月比 - 3人)
女	2,598人	(前月比 + 7人)
世帯	2,819世帯	(前月比 - 2世帯)

戸籍の窓

8月21日～9月20日までの届出分(敬称略)

●お誕生おめでとうございます

後藤 誠佑(紳介 美沙) 東町
長尾 橙和(晃樹 彩夏) 北星町

●おくやみ申し上げます

小野寺 好 102歳 東町
橋本 直子 94歳 東泊津
上田 賢一 82歳 北星町
田口 マツエ 99歳 共栄
関村 清 91歳 泉

●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係
☎0146・47・2112

町公式ホームページ

町公式フェイスブック

